

令和5年度

郡上山づくり構想に基づく施策の実施状況報告書



令和6年7月

郡上市役所農林水産部林務課

【 目次 】

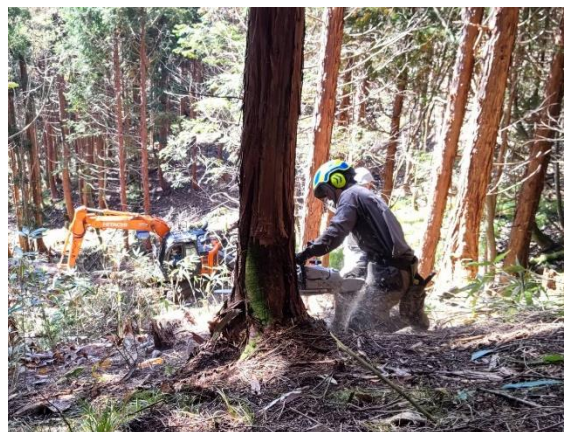
はじめに		P 1
I. 令和5年度の総括		P 4
II. 基本的施策ごとの実施状況		P 6
1. 災害に強い山づくり		
2. 多様性のある山づくり		
3. 快適な森林空間づくり		
4. 木材資源の循環		
5. 森林資源の利用促進		
6. 山を支える人づくり		
7. 地域を支える人づくり		
8. 林業を支える人づくり		
■ 資料 郡上市の森林・林業		P 28

はじめに

郡上市では、平成 22 年 3 月に郡上市の森林・林業の長期ビジョンである『郡上山づくり構想』を策定しました。

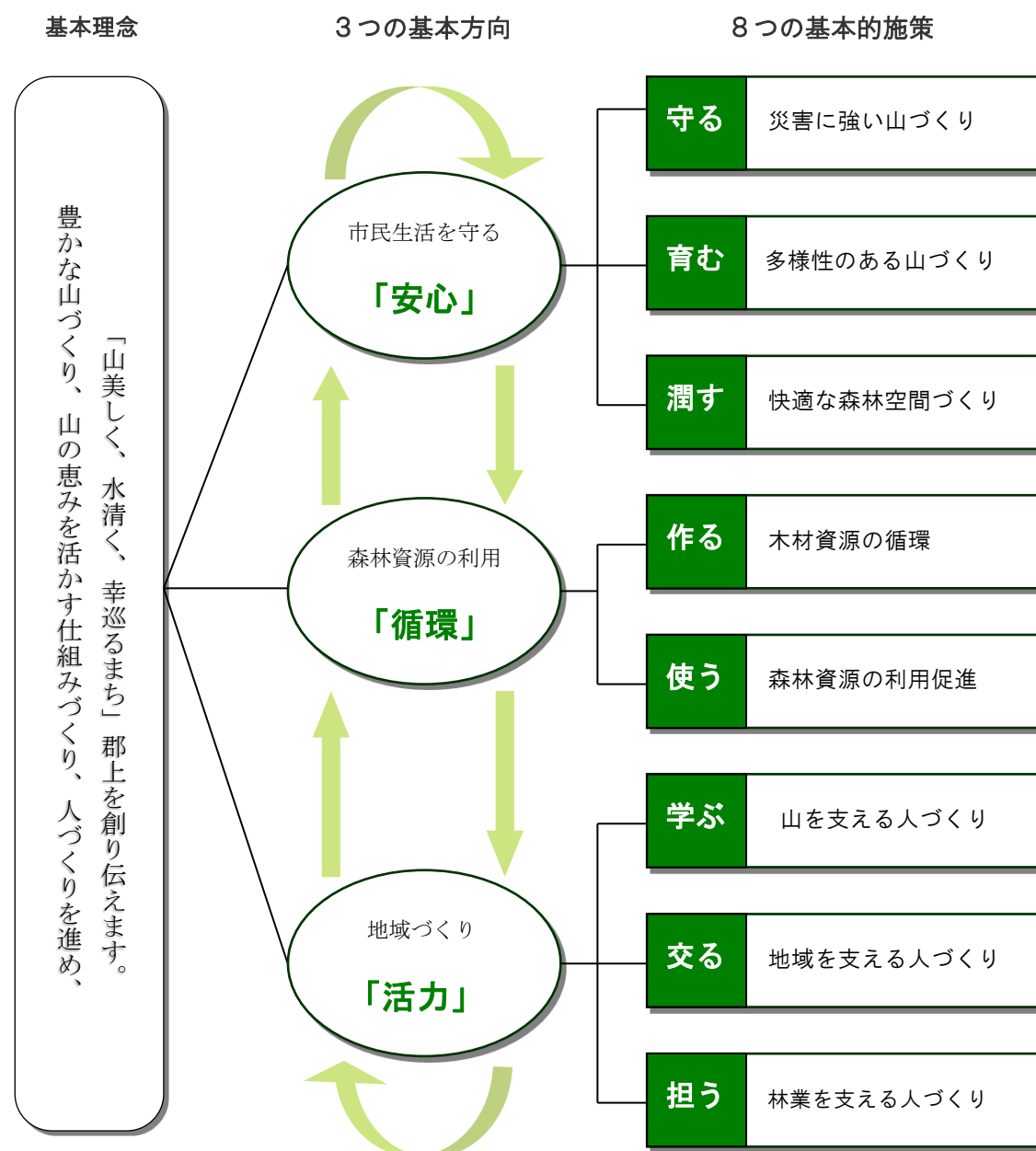
構想では、「山美しく、水清く、幸巡るまち」郡上を創り伝えることを基本理念とし、森林整備、木材利用、人材育成の 3 つの観点から施策の方向性と推進内容を示しています。

令和 5 年度も構想で示す基本方向に従って市民、関係団体の皆様、県と協力して山づくりを推進しましたので、その内容を施策ごとの実施状況として報告します。



●『郡上山づくり構想』で定める基本方向と基本的施策

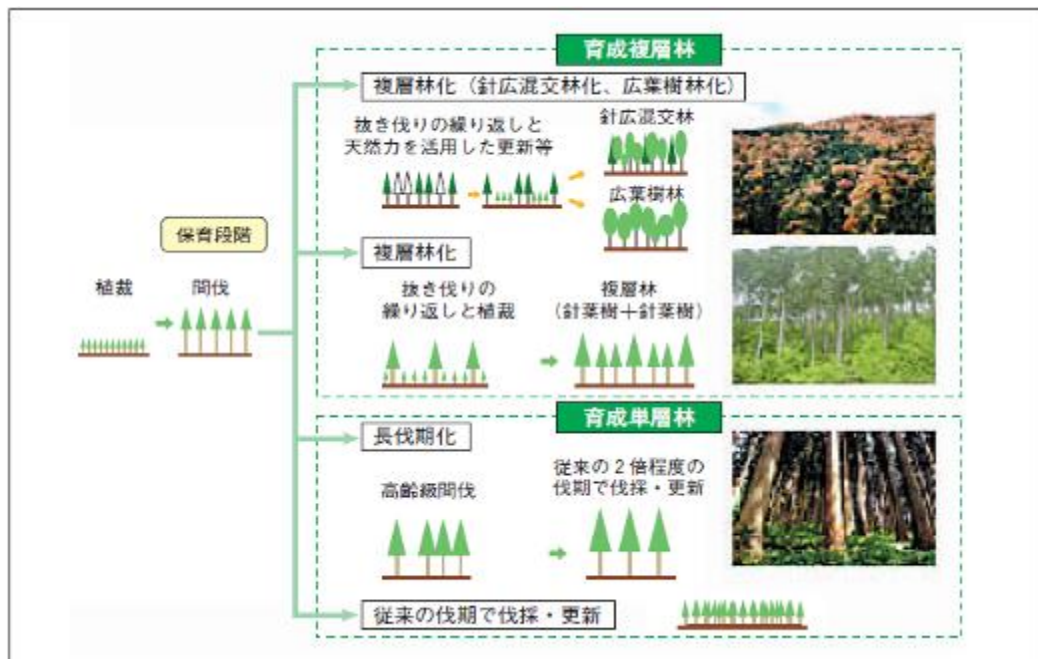
<施策体系>



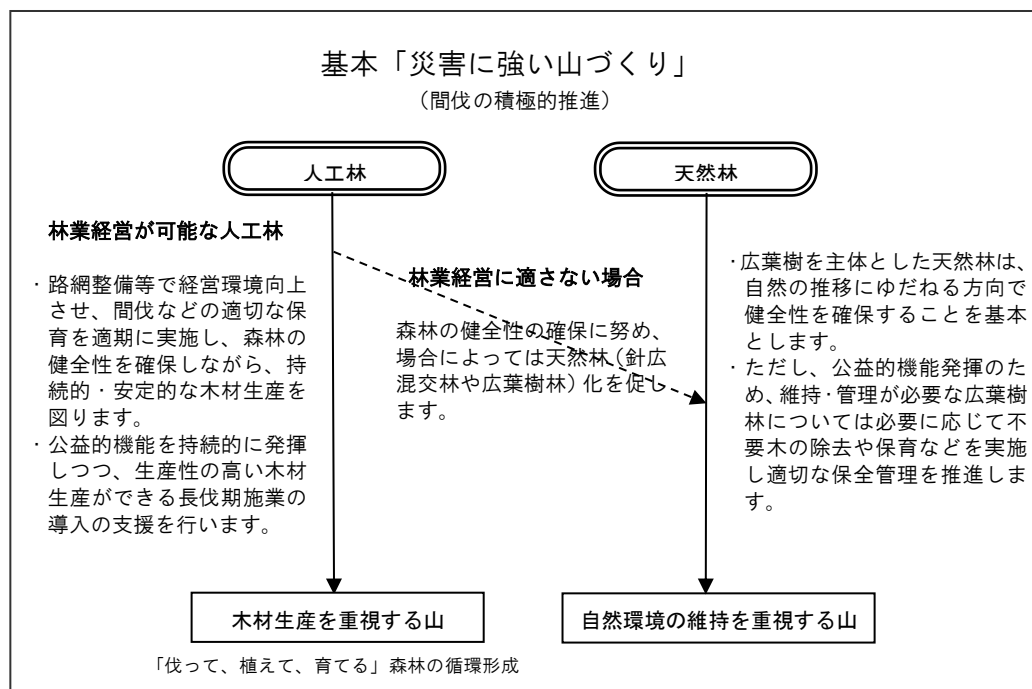
郡上山づくり構想では、豊かで美しい山を実現するために基本理念に基づく3つの基本方向、8つの基本的施策により山づくりを進めることとしています。

●多様な山づくりの推進

森林構成や利用目的に応じた多様な山づくりを推進します。



●森林整備の基本方向



I. 令和5年度の総括

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により、能登地方の各地で家屋の倒壊など甚大な被害をもたらし、大規模な山腹崩壊が多発するなどの被害が発生しました。被災された皆さまには心よりお見舞いを申し上げます。いまだ不自由な生活を余儀なくされている方も多く、一日も早い復興をお祈り申し上げます。郡上市においては、震度4を記録しましたが、被害はありませんでした。

令和5年度の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和し社会活動の正常化が進んだものの、長期化するウクライナ情勢に加え中東情勢の緊迫化や、中国経済の低迷、欧米における金融引き締め、円安の進行など、先行きは依然として不透明な状況が継続しています。

こうした変化の激しい環境の中、長期にわたる木材価格の下落等の厳しい状況が続いてきた国産材ですが、近年は生産量の増加、木材自給率の上昇など、その活力を回復させつつあります。木質バイオマス発電等による新たな木材需要によって増加傾向で推移し、令和3年に生じた木材価格の上昇は、5年度になって下落傾向にあるものの、価格上昇前の令和2年度に比して高い水準で推移しました。

郡上市では、市内の大型製材工場が計画していた、木質バイオマス発電所が建設中止となり、今後の木材生産に不安要素となる可能性があります。森林組合を中心とした林業・木材事業者が、郡上市産チップ材を安定供給し、再造林を確実に行うための基金創設を図り、市全体で課題解決を図る体制を強化しました。

また、森林環境譲与税と森林経営管理制度を活用し、森林整備の推進や境界明確化、人材育成、木育などを推進しました。さらに、林業従事者の安全対策として安全装備品などの導入支援のほか、林業団体が自ら開催する労働安全衛生対策研修への支援を新たに実施しました。

さらに、5年間に亘って林野庁のモデル地域選定を受けて行ってきた郡上地域林業成長産業化モデル事業のさらなる充実に向け、郡上森林マネジメント協議会が行うICT技術を活用したスマート林業の一例である森林マネジメント支援システムの導入を支援し、効率的で高精度な森林経営計画等を作成する実証事業を行い、木材の生産・流通・消費構造の効率化による林業の成長産業化によって、「脱炭素社会郡上」の実現に向け、再造林や保育の推進、木材利用の拡大を図りました。

森林サービス産業の取り組みとして、都市と地域の交流活動を実践してきた白鳥町二日町 高平延年の森にあった、長年に渡り懸案事項であった和式汲み取りトイレをブラザー工業による企業版ふるさと納税を活用して、最新の水洗バイオトイレに建て替えることができました。直後の交流活動は過去最多の参加者数となり、快適な環境を提供するとともに、市のイメージアップに繋がり、郡上ファン獲得に大きく貢献しているものと思われます。

1. 東京港区 札の辻スクエア内スーパーに郡上市産材ショーケースを設置

郡上市は、平成 20 年から東京港区と友好都市交流の協定を締結し、翌年、港区が交流のある全国の 7 自治体にみなと森と水サミット開催を呼びかけ、「みなと森と水ネットワーク会議」となって、本市も第 1 回から参加してきました。

大消費地である東京港区に郡上市産材を活用されることを期待しての参加でしたが、輸送コストや製品取扱事業者が少ないなど課題が多く、これまでに市産材の活用事例はありませんでした。



令和 5 年 5 月、港区有施設「札の辻スクエア」内に開店したスーパーの惣菜コーナーに、初めて郡上市産の木材を使用した什器が設置されました。

2. 郡上地域林業成長産業化（サプライチェーンマネジメントシステム構築）の強化

平成 30 年度から川上～川中～川下が連携し見える化・つながる化を進め、市場ニーズに呼応した木材の安定供給とカスケード利用のため、各工程の生産性・採算性の向上、新たな需要創出により得られる収益を山元に還元するため、事業の中心となる郡上森林マネジメント協議会の組織強化をおこないました。

これまでの団体会員だけでなく、趣旨に賛同する企業、組織等 34 者が会員となり、山元から建築現場の「見える化」、「つながる化」を実現する体制が強化できました。

3. ブラザーの森郡上が環境省「自然共生サイト」に認定

郡上市は、平成 20 年にブラザー工業株式会社と、郡上市及び岐阜県の間で「ブラザーの森郡上」における森林づくり協定を締結し、多様性に富んだ豊かな森にする活動等を官民協働でおこなってきました。

令和 5 年 10 月、ブラザー工業株式会社、郡上市、郡上森林組合の 3 者の継続的な取り組みが、国が 2030 年までに陸と海の 30%以上を健全な生態系として回復保全しようとする「30by30」達成に向けて民間企業の取り組みなどによって生物多様性保全が図られている区域として環境省から認定されました。



Ⅱ. 基本的施策ごとの実施状況

8つの基本的施策ごとの実施状況は次のとおりです。

守る

1. 災害に強い山づくり

① 間伐の積極的推進

■ 間伐の推進

令和5年度の郡上市全体の間伐面積は833haで、その内の513.79haの間伐に対し、国、県の補助に上乗せをして助成を行いました。

利用間伐は576haで32,528 m³の木材を搬出しました。利用間伐に適さない森林については、森林・環境基金事業などを利用して117haの伐捨間伐を実施しました。

(造林推進事業、森林・環境基金事業)

実績

単位：ha

年度	R1	R2	R3	R4	R5
間伐	894	789	823	826	833
うち利用間伐	512	559	575	527	576
うち補助対象面積	438	518	433	416	513

※伐採届、補助実績より

■ 森林整備事業の実施

植林、保育など森林整備に関する事業に対して国、県の補助に上乗せして助成を行いました。

(造林推進事業)

施業	R1	R2	R3	R4	R5
植林	33.09ha	28.82ha	32.63ha	58.06ha	18.02ha
下刈り	103.47ha	144.21ha	117.27ha	113.35ha	114.16ha
雪起し	11.02ha	0ha	84.46ha	65.74ha	57.63ha
除伐	8.97ha	23.32ha	0ha	0ha	0ha
枝打ち	3.27ha	2.55ha	0.12ha	0ha	0ha

(主伐・再造林事業)

施業	R4	R5
皆伐（架線）	2.60ha	0ha
人工造林	—	22.19ha
下刈	—	25.42ha
雪起こし	—	15.33ha

② 違法伐採の禁止と伐採跡地の確実な更新

■ 伐採届に対する指導

地域森林計画の対象になっている森林の伐採について、令和 5 年度は 129 件の伐採届（森林法第 10 条の 8 第 1 項）を受理し、届出者に対して伐採方法、造林方法等について指導を行いました。無届伐採は、1 件あり、届出制度の趣旨を理解するよう指導を行い、次回同様の無届伐採を行った場合には告発を行う旨を文書に明示して指導しました。

■ 郡上市皆伐施業ガイドラインの周知

伐採届（森林法第 10 条の 8 第 1 項）の受理時に、皆伐する届出者に対して、郡上市皆伐施業ガイドラインの周知を行いました。1ha 以上の皆伐について、令和 5 年度は 7 件（うち 15 条は 3 件）のガイドラインによる届出を受理し、県・市担当者等で、現場において、伐採方法、造林方法等について指導を行いました。

■ 皆伐跡地の調査

皆伐跡地の植生回復状況を把握するため、9 月に県・市担当者、岐阜県森林研究所研究員で、市内 4 地域、6 箇所において調査を実施しました。

また、調査結果をまとめ、令和 5 年度版「皆伐跡地調査報告書」を作成しました。

③ 保安林と治山事業

■ 保安林

保安林内間伐届出書を 54 件受理し、届出者に伐採方法等について指導を行いました。

■ 治山事業の実施

県では、山地災害により被災した箇所への早期復旧のため、災害発生から概ね 3 年以内に、復旧対策の完了を目標としています。市内においては、復旧治山事業など 24 箇所が施工されました。



治山事業実施状況

事業名	R1	R2	R3	R4	R5
復旧治山事業	3 箇所	3 箇所	3 箇所	6 箇所	3 箇所
緊急予防治山事業	4 箇所	3 箇所	2 箇所	1 箇所	4 箇所
予防治山事業	5 箇所	6 箇所	6 箇所	3 箇所	5 箇所
奥地保安林保全緊急対策事業	1 箇所	1 箇所			
県単治山事業	3 箇所	4 箇所	3 箇所	4 箇所	7 箇所
集落環境保全整備事業	5 箇所	5 箇所	3 箇所	3 箇所	3 箇所
保安林整備事業					1 箇所
災害関連緊急治山事業					
治山施設災害復旧事業			1 箇所		
流木防止総合対策事業		1 箇所	1 箇所	2 箇所	1 箇所
	21 箇所	23 箇所	19 箇所	19 箇所	24 箇所

※集落環境保全整備事業は、県補助金で市が実施する事業です。

④森林経営管理制度による森林整備の推進

■ 森林経営管理事業

森林経営管理制度に基づき、森林経営計画が作成されておらず、今まで手の入れられていない災害リスクの高い民家裏の森林を重点的に森林所有者の経営管理に関する意向調査 10 箇所、森林境界明確化 11 箇所、森林施業プラン作成 7 箇所、森林整備 1 箇所を行いました。

今後は、環境保全林に指定した私有林の人工林 12,000ha を順次、郡上森林マネジメント協議会とともに意向調査を進め、境界確認、施業プランの作成を行い、危険木の除去や間伐等の森林整備を行っていきます。

（【森林環境譲与税】森林経営管理事業）



大和町徳永地区全体説明会の様子

意向調査

地区名	対象面積	対象者数
八幡町西乙原	76.96ha	70 名
八幡町相生雛成	37.89ha	41 名
八幡町小那比	44.71ha	67 名
八幡町島谷	31.48ha	57 名
大和町徳永	44.92ha	93 名
大和町中神路	76.82ha	51 名
白鳥町中津屋	28.31ha	47 名
高鷲町大鷲	30.06ha	42 名
和良町下洞	37.45ha	24 名
和良町野尻	47.14ha	80 名
計	455.74ha	572 名

境界明確化

地区名	対象面積
八幡町尾崎	27.18ha
和良町沢	39.55ha
八幡町稲成	22.55ha
八幡町野々倉	19.66ha
八幡町旭	30.75ha
八幡町五町	62.47ha
大和町小間見	39.81ha
大和町大間見	67.69ha
大和町剣	6.67ha
白鳥町野添	22.80ha
美並町三戸	31.43ha
計	370.56ha



境界明確化立会の様子

施業プラン作成

地区名	対象面積
白鳥町中西	33.42ha
八幡町穀見	26.59ha
八幡町小那比	11.93ha
八幡町尾崎	25.72ha
大和町島	28.15ha
大和町栗巢	53.38ha
和良町沢	36.56ha
計	215.75ha



森林整備

地区名	対象面積
八幡町初納吉田（2期）	36.60ha
計	36.60ha



八幡町初納吉田（2期）森林整備

① 森林整備の考え方

■ 『森林配置計画』について

「第3期岐阜県森林づくり基本計画」において、「森林配置計画」を策定することとなりました。これは、100年先に向けて望ましい森林の姿へ配置を見直すために「木材生産林」、「環境保全林」、「観光景観林」、「生活保全林」の4つの望ましい姿を設定するもので、客観的指標と地域の実情を踏まえて、令和2年度に策定されました。

木材生産林	34,864ha
環境保全林	55,630ha
計	90,494ha

■ 森林経営計画の作成推進

森林経営計画は、令和5年度末で、60件、24,267haを認定しています。

今後は計画の更新や区域計画への移行も含め、計画作成を促進していきます。また、森林整備地域活動支援交付金事業等により、森林経営計画の作成や森林境界の明確化について支援しました。

(森林整備地域活動支援交付金事業)

森林経営計画実績

	R1	R2	R3	R4	R5
認定件数	13件	20件	14件	15件	8件
面積	2,708ha	2,827ha	4,745ha	6,204ha	7,606ha

森林整備地域活動支援交付金事業実績

	R1	R2	R3	R4	R5
協定数	2件	3件	3件	3件	3件
対象森林面積	687ha	1,374ha	1,788ha	2,002ha	2,161ha

② 森林情報の整備

■ 所有者届出制度の運用

森林法による森林の土地の所有者届について、令和 5 年度は 248 件の届出を受理しました。また、死亡手続きの際に、関係課と協力して所有者届出制度の周知を図りました。

	R1	R2	R3	R4	R5
届出件数	177 件	180 件	225 件	234 件	248 件

■ 境界明確化事業の推進

森林境界が不明確なため森林整備が進んでいない森林において、森林施業地の集約化の拡大を図るため 4 件 263ha (大和町落部、白鳥町阿多岐、明宝小川地内) の境界明確化を行いました。

	R1	R2	R3	R4	R5
境界明確化 実施面積	98ha	165ha	217ha	194ha	263ha

■ 林地台帳の整備

森林法に基づき平成 31 年に整備した林地台帳について、所有者情報の精度向上を図るため、森林の土地の所有者届や境界明確化の結果、固定資産課税台帳に記載されている森林所有者に関する情報等を取り込み、データの更新を行いました。

	R1	R2	R3	R4	R5
更新	219,150	227,393	232,598	243,116	247,155

令和 5 年度は 3 件の申請があり、森林所有者や森林所有者から経営の委託を受けた方等に対して情報提供等を行いました。

	R1	R2	R3	R4	R5
申請件数	2 件	6 件	18 件	20 件	3 件

■ スマート林業の推進

効率的な森林経営管理をおこなうため、森林資源情報を基に計画が作成できるように専用システムの整備を行います。

これまで、整備してきた森林資源情報に加え、県が計測した航空レーザ計測データを基に人工林の胸高直径や材積の単木解析を行いました。

区分	R1	R2	R3	R4	R5
地形・森林 資源情報整備	高鷲	白鳥 大和	和良	—	—
単木解析 GIS データ作成	—	—	—	八幡・大和・高鷲・ 美並・明宝・和良	白鳥 市有林全ヶ所

① 森林の整備

■ 居住地周辺の整備

【小規模森林整備事業】

面積が小規模であることなどから、国県の補助事業の対象とならない森林整備に対し 17 件、約 17.88ha に助成を行い森林の育成や保全を図りました。



小規模森林整備事業 実績

間伐状況（八幡町小那比）

内容	R1	R2	R3	R4	R5
申請件数	16 件	12 件	15 件	18 件	17 件
植栽・間伐 ・下刈り等	18.66ha	12.60ha	13.19ha	9.19ha	17.88ha

【生活保全林整備事業】

集落や生活道路など保全すべき対象に隣接する森林において、倒木等により危険を及ぼす可能性があるものについて、林縁から 30m 以内の範囲で立木の伐採等の整備を 11 箇所実施しました。



生活保全林整備事業 地域別実績

整備後の状況（大和町）

実施地区	R2	R3	R4	R5
八幡	2	5	8	6
大和	1	6	2	—
白鳥	2	—	1	3
高鷲	—	—	—	—
美並	3	1	1	1
明宝	1	—	2	1
和良	—	—	2	—
計	9	12	16	11

【風倒木等林内処理事業】

気象災害等による倒木が豪雨時に流出し、下流域に流木災害が発生するおそれがある箇所を対象に、倒木の玉切り・集材（引き上げ）を3箇所実施しました。



風倒木の被害状況（大和町）

風倒木等林内処理事業 地域別実績

実施地区	R1	R2	R3	R4	R5
八幡	—	4	4	1	1
大和	—	1	—	2	2
白鳥	—	—	—	—	—
高鷲	1	—	—	—	—
美並	—	2	—	—	—
明宝	—	—	—	—	—
和良	—	2	—	—	—
計	1	9	4	3	3

■ 緑化への支援

八幡町田尻地区の生活保全林整備事業等の皆伐跡地の緑化や、大和町フィールドミュージアム遊歩道の整備に緑の募金を活用し、サクラやモミジなど76本の苗木購入の支援を行いました。

② 鳥獣害対策

■ 鳥獣害対策の推進

【捕獲対策】

鳥獣被害防止総合対策緊急捕獲支援事業、森林・環境税を活用したニホンジカ捕獲事業（個体数調整）により、被害が多発しているニホンジカ等の捕獲に努めました。令和５年度の捕獲数は前年度から 50 頭（羽）増加し、年間で 3,456 頭（羽）の有害鳥獣が捕獲されました。また、第二種特定鳥獣管理計画に基づく個体数管理としてカモシカの捕獲を 5 頭実施しました。

尚、鳥獣被害対策実施隊は前年度から 19 名減り 312 名となりました。実施隊員を維持するため、第一種銃猟免許取得に必要な経費及び猟銃等の購入並びに所持許可に係る経費の補助を 2 名の方に行いました。

（林業技術者育成・確保事業）

有害鳥獣年間捕獲数

内容	R1	R2	R3	R4	R5
イノシシ	292 頭	121 頭	139 頭	210 頭	349 頭
ニホンジカ	2,166 頭	2,894 頭	3,281 頭	2,714 頭	2,587 頭
ニホンザル	339 頭	343 頭	155 頭	261 頭	267 頭
カラス	46 羽	75 羽	55 羽	94 羽	52 羽
カワウ	7 羽	0 羽	0 羽	0 羽	0 羽
ハクビシン	30 頭	73 頭	23 頭	35 頭	91 頭
ヌートリア	1 頭	2 頭	2 頭	1 頭	0 頭
アライグマ	11 頭	17 頭	7 頭	7 頭	14 頭
アナグマ	32 頭	62 頭	54 頭	80 頭	93 頭
ツキノワグマ	24 頭	14 頭	7 頭	4 頭	3 頭
合計	2,948 頭 (53 羽)	3,601 頭 (75 羽)	3,723 頭 (55 羽)	3,406 頭 (94 羽)	3,456 頭 (52 羽)

カモシカ捕獲数

地 域	R1	R2	R3	R4	R5
大和	3 頭	3 頭	3 頭	3 頭	1 頭
高鷺	4 頭	5 頭	4 頭	4 頭	2 頭
白鳥	-	-	2 頭	2 頭	2 頭
合 計	7 頭	8 頭	9 頭	9 頭	5 頭

【防除対策】

電気柵、檻に対して助成する防除事業（郡上市有害鳥獣対策地域力支援事業）

【ジビエの取組について】

1，連携予定先の現地視察

日 時：10月12日（木）、13日（金）

視察先：兵庫県丹波篠山市

参加者：市内各解体処理施設6名



2，郡上ジビエフェアの開催

日時：11月25日（土）

場所：郡上市美並町日本まん真ん中センター



① 団地化の推進と機械化

■ 高性能林業機械等の導入

郡上市内の各林業事業体においてハーベスタ、スイングヤード等 52 台の高性能林業機械を導入し、効率的な森林施業が行われています。令和 5 年度新たな導入はありません。



プロセッサを使用した施業の様子

高性能林業機械の保有状況（R5 年度末現在）

プロセッサ	ハーベスタ	スイングヤード	フォワーダ	計
24 台	5 台	16 台	7 台	52 台

■ ICT 林業技術等の導入

スマート林業に取り組むために必要な ICT 技術等の導入に対し、3 事業体の GNSS 測量機器 2 機と WEB 配車管理システムの改修を支援しました。

② 路網の整備

■ 林内路網の整備

林道を 1,483m 開設するとともに、作業路の開設は、事業体が行う加速化事業分も含めると 64 路線 25,285m が開設されました。

内容	R1	R2	R3	R4	R5
林道の開設	1,683m	1,788m	1,878m	1,675m	1,483m
作業路の開設	69 路線 28,008m	76 路線 26,385m	55 路線 21,317m	55 路線 24,689m	64 路線 25,285m
林内路網密度	25.6m/ha	25.9m/ha	26.0m/ha	26.2m/ha	26.5m/ha

■ 既設作業路の補修

森林整備及び木材生産を促進するため、12 路線 11,477m の作業路補修を行いました。

内容	R1	R2	R3	R4	R5
路線数	17	20	12	1	12
延長	5,388m	8,382m	5,461m	165m	11,477m

③ 森林の循環システムの構築

■ 低コスト造林の検証

将来に亘る森林の多面的機能の維持及び持続的に木材資源を利用していくために、皆伐地における再造林・保育経費の低コスト化を検証・評価する「主伐・再造林実証事業」を平成 28 年度から令和 8 年度にかけて古道市有林の 1.46ha を皆伐・再造林・獣害対策を施工し検証、評価を行っています。

令和 5 年度は下刈を計画していましたが、現地確認の結果、不要と判断し実施していません。

（【森林環境譲与税】主伐・再造林推進事業）



古道市有林

■ 主伐・再造林事業者との連携強化

伐採者、造林事業者に適正な伐採と伐採後の再造林がスムーズに行えるよう、令和 5 年度は 10 件の現場確認を事業者と行いました。



架線集材現場の確認

① 加工・流通体制の整備、商品の開発

■ 大型製材工場への原木安定供給

平成 27 年に大型製材工場が本格稼働を始めてから、市内の木材需要が増加しています。年間 10 万 m^3 の製材を行う計画です。

定期的に原木需給調整会議が開催され、原木の安定供給に努めています。

長良川木材事業協同組合稼働状況 (原木納材・製材) 単位: m^3

年度	R1	R2	R3	R4	R5
納材	72,561	52,015	72,611	78,433	70,609
うち 市内	24,777	21,492	27,973	29,055	28,330
うち 市外	47,784	30,523	44,638	49,378	42,279
製材	75,793	60,043	74,755	83,226	75,663

② 公共施設の木造化・木質化の推進

令和 6 年度に学校統合される、郡上市立大和小学校の普通教室棟・子育て活動拠点施設（主に放課後児童クラブに使用）を新設しました。普通教室棟に県産材 58.06 m^3 、郡上市子育て活動拠点施設に県産材 62.56 m^3 を使用して児童玄関をはじめ、主要な部屋の床、壁、天井の木質化を行いました。



郡上市立大和小学校



郡上市子育て活動
拠点施設

③ 木造建築の促進

■ 郡上市産材の利用促進

郡上市産材の利用促進と市内への定住促進を図るため、『郡上市産材住宅建設等支援奨励金制度』に取り組みました。この制度は、郡上の木を使って住宅又は店舗を新築、増改築やリフォームをする場合に 最大 70 万円の奨励金を交付します。令和 5 年度は 51 件交付しました。

尚、令和 4 年度から郡上市産材の利用量に応じた奨励金の交付へ変更しました。

(郡上市産材住宅建設等支援奨励金事業)



郡上市産材を使用した住宅

内容	R1	R2	R3	R4	R5
交付件数	65 件	62 件	70 件	69 件	51 件
郡上市産材 80%以上 使用	90%	81%	89%	—	—
新規定住につながったもの	32%	32%	33%	25%	29%

■ 匠の国・岐阜県伝統建築家認定

木造軸組構法などの伝統的な木造建築について、特に卓越した技能、知識、経験を有し、後継者の育成に多大な実績のある建築大工技能士を認定し社会的評価の向上に努めています。

年度	R1	R2	R3	R4	R5
認定件数	—	1 件	—	3 件	—

④ 森林資源の利活用促進

■ 地域材を活用した木質バイオマスエネルギーの利用

森林資源を活用した木質バイオマスエネルギー循環システムとして、明宝温泉、明宝デイサービスセンターで 1,637 m³の木質燃料を使用しました。

■ 木質ストーブ購入補助制度の活用

税込本体価格 20 万円以上の薪ストーブ及びペレットストーブを市内の業者から購入し、自宅や事業所等に設置された薪ストーブ等購入の補助は 18 件、うちペレットストーブは 10 台、薪ストーブは 8 台でした。

(森林資源活用事業)

年度	R1	R2	R3	R4	R5
件 数	26 件	20 件	18 件	12 件	18 件

■ 木の駅プロジェクトの推進

林地残材の有効活用と地域内商店等の活性化を目的として実施されている『木の駅プロジェクト』を 4 団体が実施し 672.2 t のスギ、ヒノキの人工林が活用されました。

(【県森林環境税】未利用材の搬出促進事業)



林地残材の搬出状況（高鷲）

団体別搬出量

(単位：t)

団 体 名	R1	R2	R3	R4	R5
たかす木の駅会議	240.7	201.1	91.5	120.1	204.2
明宝山里研究会	360.0	-	-	-	-
口明方木の駅実行委員会	30.6	20.1	20.1	20.1	20.2
明宝温泉株式会社	-	360.0	456.0	734.8	397.8
郡上市社会福祉協議会	-	40.0	40.0	50.0	50.0
計	631.3	621.2	607.6	925.0	672.2

① 学校教育との連携

■ 森林環境教育の推進

市内小中学校6校の緑の少年団へ助成金を交付して活動支援を行いました。
また、林業グループ、林業事業体及び市職員等が講師となって林業体験や森林教室の実施や、NPO法人つくしん棒による間伐材を活用した、既存の学童机の天板を取り換えて設置する「YUMEITA」の導入を4小学校で行いました。また、木製ジャングルジム「くむんだー」の製作体験を市内の幼・保育園5園の園児と小学校7校の児童を対象に実施しました。

（【国県森林環境税】郡上木育推進支援事業）



木製ジャングルジム製作体験

年度	R3	R4	R5
幼稚園・保育園	4園	6園	5園
小学校	9校	13校	14校
中学校	2校	4校	4校

② 市民への普及・啓発

■ 木製玩具の贈り物

生まれてすぐに木に触れることで木に親しみが湧くように、市内の新生児に対して木製玩具をプレゼントする「未来のギフト」を行いました。市内6事業者が国産材を使用して9種類の木製玩具を作成しており、152名の新生児に対して木製玩具を贈りました。

（【国県森林環境税】郡上木育推進支援事業）



国産材を使用した木製玩具

年度	R2	R3	R4	R5
贈呈数	55	326	179	152

■ 郡上市森林づくりフェアの開催

郡上市の林業に携わる様々な団体や、森林・林業の意義、効果等を市民に分かりやすく紹介するため、11月25日（土）美並町日本まん真ん中センターで、郡上市森林づくりフェアを開催しました。林業 VR シミュレーターやシカハンティングシュミレーター、電動アシストマウンテンバイク E-BIKE の試乗体験及び丸太切り体験、ドローン測量体験、ひのきのポンポンづくり、KUMINO、ジビエ試食を行いました。



③林業グループ等団体の育成・強化

団体別会員数 (単位：人)

団 体 名	R4	R5
白鳥林生会	8	21
高鷲林業グループ	14	27
明宝林業グループ	6	6
計	28	54

① 地域座談会の開催

■ 森林づくり推進会議の開催

郡上市の森林づくりの方向性や具体的な推進課題を検討するため、市民、林材業関係者、行政等により組織された郡上市森林づくり推進会議を開催（7月、11月、2月）しました。森林環境譲与税の実績、令和5年度予算、郡上森林マネジメント協議会の取り組み等について検討しました。また、経営管理事業森林整備現地視察を実施しました。



森林づくり推進会議
現地見学会の様子

② 下流域との交流の促進

■ 企業の森・上下流連携

ブラザーの森（高平延年の森）植樹活動は、ブラザー工業株式会社の従業員とその家族、関係者を含め378名で実施しました。また、ブラザー工業のふるさと納税による寄附でバイオマストイレをブラザーの森に設置しました。



ブラザーの森 植樹活動

■ 長良川源流の森育成事業

明宝畑佐において、主催の郡上漁協役員を含め123名で、日本一の「郡上鮎」を育む長良川の水源涵養と、「山から川へ、そして海へ」と続く源流部の森を育成し、豊かな生態系を維持増進することを目的として、広葉樹の植樹を実施しました。

③ 地域資源を生かした交流

■ 東京都港区との交流

令和5年10月26日（木）みなと森と水ネットワーク会議参加自治体（郡上市ほか85自治体）の首長が東京都港区に集い、みなと森と水サミット2023が開催されました。

郡上市は、郡上市産材を使用した製品の普及を目的として市内外の17事業者が「みなと森と水ネットワーク会議」に登録しています。



郡上市長が参加した
みなと森と水サミット

④ 山村文化の継承

■ 森林・山村多面的機能発揮対策事業

地域住民が中心となった民間協働組織が実施する里山林等の保全管理等の取組に対して、一定の費用を市と国が助成するもので、1団体が活用し約10haの里山整備を行いました。森林の有する多面的機能の持続的な発揮と地域力の向上を通じ市民や観光客に対して、里山整備の重要性や効果を広く周知することが期待されます。



活動状況（八幡町地内）

実績

年度	R1	R2	R3	R4	R5
活動団体	3団体	2団体	2団体	1団体	1団体
対象面積	13.65ha	13.5ha	11ha	10ha	10ha
活動内容	支障木の処理、刈払い、薬業採取、バイオマス資源の搬出など				

① 新規雇用の促進

■ 林業技術者確保事業

新規林業就業者確保のためにおこなったインターンシップ受入に対する支援を1事業者に行いました。

■ 林業就業移住支援事業

他県から郡上市に移住し、林業に就業した2事業者の各1名に対し支援金を交付しました。

② 雇用環境改善への支援

■ 林業労働災害レスキュー訓練

労働災害の発生が最も高い林業において、奥山で作業する労働災害被災者を安全かつ迅速に救出するために必要な知識と救出手順等を学ぶ被災想定訓練と参加者による意見交換が、9月に郡上市大和町の古道市有林で県主催により行われました。

■ （新規）労働安全衛生対策支援事業

素材生産協議会が会員向けに初めて労働安全に関する講習会を開催するために、講師の調整や開催経費の全額を支援しました。また、自社で労働安全対策講習会を開催した2事業者に補助金の交付と、最新式ヘルメットやスパイクブーツなどの安全対策装備品を購入した7事業者に補助金を交付しました。



林業用ヘルメット



甲ガード付スパイク地下足袋

③ 森林技術者の育成と技術の継承

■ 林業技術者育成事業

林業に関する担い手育成のため、伐木チェーンソー作業従事者特別教育や車両系木材伐出機械特別教育などの講習を受講した3事業者 105 名に対して受講料や日当の一部を支援しました。また、郡上高校生 18 名の刈払機講習に対して費用の全額を支援しました。

3 事業者 13 名がおこなった、高性能林業機械を使用した効率的な素材生産技術や高価値を生むための造材技術などの習得のための技能研修(座学、実地研修)に対して支援を行いました。



林業作業時（フォレストワーカー）研修

■ 架線集材技術の継承

架線による集材技術の継承を図るため、架線延長 411m の主伐地における OJT に対し支援を行いました。



油圧集材機 OJT の様子

■ 資料 郡上市の森林・林業

1. 森林の概況
2. 間伐実施状況
3. 県内他市町村との比較
4. 林業・木材産業の動向
5. 林業の担い手等の動向

1. 森林の概況

- 市総面積の約 9 割が森林 ※表 1
- 森林の 97%が民有林で、うち 9 割が個人の所有する私有林 ※表 2
- 民有林人工林の蓄積量は 18,051 千 m^3 で資源が充実 ※表 3
- 人工林の主要樹種は南部地域はヒノキ、北部地域はスギの割合が高い
 - 美並・和良地域の人工林面積の 8 割弱がヒノキ
 - 白鳥・高鷲地域の人工林面積の 8 割強がスギ
 - 市全体では、スギ、ヒノキ人工林面積の割合はほぼ同程度
- 人工林の 67.7%が間伐対象林分（3～12 齢級＝11～60 年生） ※表 4

[表 1] 総土地面積に占める森林の割合

単位：ha

区分	総土地面積	森林	農地	その他	森林率
郡上市	103,075	92,844	1,434	8,797	90.1%

[表 2] 所有形態別森林面積

単位：ha

区分	民有林		国有林	合計
	私有林	公有林		
面積 (割合%)	81,821 (88.1)	8,757 (9.4)	2,266 (2.5)	92,844 (100.0)

[表 3] 民有林人工林・天然林別蓄積量

単位：千 m^3

区分	人工林			天然林	合計
	12 齢級まで	13 齢級以上	計		
蓄積量 (割合%)	10,894 (45.6)	7,157 (30.0)	18,051 (75.6)	5,837 (24.4)	23,888 (100.0)

[表 4] 民有林人工林齢級別面積

単位：ha

区分	1～2	3～7	8～9	10～12	13～	合計
面積 (割合%)	434 (0.9)	3,829 (7.6)	9,064 (18.0)	21,093 (42.0)	15,806 (31.5)	50,226 (100.0)

○ 令和5年度は、約833haの間伐を実施

○ 郡上市は県全体間伐実施量の約17.3%を実施

間伐実績

単位：ha

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
郡上市	1,435	1,103	1,346	1,545	1,126	979	894	788	926	826	833
県全体	8,382	8,598	9,840	8,591	8,125	7,351	7,913	6,871	6,691	6,145	4,815

2. 県内他市町村との比較

総森林面積 ha

1	高山市	200,400
2	郡上市	92,843
3	下呂市	78,370
4	飛騨市	74,278
5	揖斐川町	73,440

民有林人工林面積 ha

1	郡上市	50,231
2	高山市	45,271
3	下呂市	33,478
4	中津川市	23,187
5	恵那市	20,871

民有林人工林蓄積 千m³

1	郡上市	18,283
2	高山市	13,852
3	下呂市	13,289
4	中津川市	7,435
5	揖斐川町	7,097

年間除間伐実施面積 ha

1	高山市	1,054
2	郡上市	826
3	下呂市	752
4	恵那市	483
5	関市	440

年間造林実施面積 ha

1	郡上市	70
2	高山市	27
3	本巣市	21
4	揖斐川町	16
5	海津市	13

森林作業道等開設実績

1	下呂市	55 路線 (27,477m)
2	郡上市	55 路線 (24,689m)
3	高山市	50 路線 (22,252m)
4	関市	21 路線 (8,752m)
5	七宗町	11 路線 (8,671m)

林道路線延長

1	郡上市	612,548m (273 路線)
2	高山市	598,746m (275 路線)
3	下呂市	521,418m (208 路線)
4	中津川市	514,315m (202 路線)
5	恵那市	321,183m (136 路線)

森林技術者数

1	高山市	165 人 (24 事業体)
2	郡上市	152 人 (27 事業体)
3	下呂市	73 人 (14 事業体)
4	中津川市	79 人 (14 事業体)
5	恵那市	59 人 (10 事業体)

令和4年度版 岐阜県森林・林業統計書より

3. 林業・木材産業の動向

	R1	R2	R3	R4	R5	備考
主伐面積・材積	105.2ha 102.7 千m ³	119.6ha 83.1 千m ³	146.3ha 82.7 千m ³	123.0ha 78.4 千m ³	89.6 千m ³	林道・作業路の支障木伐採等を含む
間伐面積	894.41ha	788.59ha	823.23ha	825.83ha	833.00ha	
うち利用間伐 (造林補助)	512ha 30.6 千m ³	559ha 31.9 千m ³	575ha 34.3 千m ³	527ha 35.6 千m ³	576ha 32.5 千m ³	
素材生産量	133 千m ³	115 千m ³	117 千m ³	110 千m ³	122 千m ³	
木材流通量 (2 市場)	58 千m ³	56 千m ³	61 千m ³	67 千m ³	74 千m ³	
シイタケ生産量 (生・乾)	437 t	414 t	474 t	410 t	485 t	
住宅着工数 (木造)	115 戸	89 戸	101 戸	101 戸	91 戸	

4. 林業の担い手等の動向

	R1	R2	R3	R4	R5	備考
林業就業者数	161 人	148 人	147 人	152 人	148 人	
林道・作業道開設実績	1.7/28.0km	1.8/26.3km	1.9/21.3km	1.6/24.7km	1.4/25.3km	
路網密度	25.6m/ha	25.9m/ha	26.0m/ha	26.2m/ha	26.5m/ha	